

パネリストのご紹介

ファシリテーター



奥本 英樹 教授 政経学部（仮称）

専門：コーポレートファイナンス、実証会計学

専門の研究では、企業統治のあり方と経営者行動との関係をさまざまな定量データをもとに検証するだけでなく、企業インタビューなどのフィールドワークも盛んに行っています。

また、海の活動に関しては、サーフィン大会誘致のほか、海の素晴らしさを伝えるための数多くのアクティビティを日本中の様々な海に関する活動団体とともに官民一体となって実践しています。

パネリスト

宗形 潤子 教授 教育学部（仮称）

専門：教科教育学生生活科・総合、教育実践学

小学校生活科における子どもの砂遊びについて研究しています。遊ぶことは子どもにとって何よりも大事な営みの一つで、権利でもあるにもかかわらずなかなか担保できていないことに強い課題意識をもっています。現在は、子どもにとって安全で長い時間を過ごしている学校で豊かな遊びが実現するためにできることは何か、そのきっかけの一つが砂遊びではないかと考え、現場の先生方と協働しながら研究を進めています。同時に、福島県内に生活科・総合的な学習の時間のムーブメントを起こすために奮闘中！



パネリスト

西田 奈保子 教授 政経学部（仮称）

専門：行政学、都市行政論、都市地域政策

中央—地方関係の視点から、行政・政策・自治の成立条件に関する研究を行っています。特に、住宅・居住政策、震災や原子力災害後の政策と地域社会との関係、災害行政と行政職員の関係、さらにはまちづくりを主な対象領域としています。現在は、学生とともに、防災まちづくり（福島県浪江町幾世橋地区など）や災害復興公営住宅制度が抱える課題に取り組んでいます。



パネリスト

大山 大 教授 理工学部（仮称）

専門：金属錯体化学、触媒化学

自然界に存在する安定な小分子（水素、窒素、酸素、水など）を有用な物質に変換するための触媒を開発しており、最近特に水素の利活用を目指した研究に取り組んでいます。水素はクリーンな燃料として注目されていますが、一方で工業原料としての利用も重要です。水素の様々な利用法を化学の立場から提案し、水素の普及拡大につなげるのが使命です。



パネリスト

牧 雅康 教授 食農学部（仮称）

専門：空間情報学

衛星画像やドローン画像を用いた森林や農地の状態を非破壊・非接触で推定する手法の開発や、ドローンを用いた尾瀬ヶ原に生息するシカの個体数推定と食害箇所と程度の把握などの研究をしています。

今後も福島をフィールドにしてこれらの研究を継続し、福島からドローンを活用した農地管理方法を発信していきたいと思います。また、地域で活躍できる人材育成にも力を入れて取り組みたいと思います。



本学卒業生

福島市立清水小学校

福島市役所

ジューエルサイエンス株式会社

ヤンマーアグリ株式会社